

## ダム守同心情報連絡票(第39号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイツカ湖に関する情報をお届けするものです。

### 1. 「森と湖に親しむ旬間」行事の開催レポート

毎年7月21日から31日はダムや森林、水資源等の重要性について認識を高めていただく「森と湖に親しむ旬間」です。

今年、灰塚ダム・ハイツカ湖では「森と湖に親しむ旬間 in 笑湖(エコ)ハイツカ」と銘打って、旬間中の7月26日(土)にダム堤体にて「灰塚ダム探検ツアー」、7月27日(日)には地域の方々で結成された「ウェットランド団」の皆さんと共同で「ウェットランド笑湖(エコ)楽校」を企画しました。

7月26日(土)はあいにくの天候で予定していた「灰塚ダム探検ツアー」は中止とさせていただきます。

天候が持ち直した7月27日(日)の「ウェットランド笑湖楽校」では、三次市や庄原市の各地から14人の親子連れの皆さんにご参加いただきました。

今回の笑湖楽校ではウェットランドの沼沢地に住んでいる生き物を採って、何が採れたか調査しました。

はじめに知和管理棟にて岩水館長から沼沢地に入るにあたっての注意事項等を説明いただいたのち、網を持って沼沢地へ向かいました。

沼沢地は前日の降雨の影響か、水草が浮いていて水中が見えにくく、子供たちは四苦八苦していましたが、ウェットランド団の皆さんのワンツー・マンのご指導の結果、コツを覚えた子供たちから「採れたよー」という歓声があがっていました。

その後、沼沢地で採れた生き物を知和管理棟に運んで、図鑑とにらめっこして、ウェットランドにいる生き物の種類について学びました。

今後も、こういった行事を通じて、灰塚ダム・ハイツカ湖周辺の環境を見て触れていただき、笑顔あふれるハイツカ湖を目指していきたいと考えています。

参加者の皆さん、ウェットランド団の皆さん、当日はお疲れ様でした。ありがとうございました。



生き物の採集(ウェットランド沼沢地にて)



何が採れたかな?(知和管理棟にて)

## 2. 中小出水の再現放流を実施しました

平成21年7月21日(火)、梅雨前線に伴う降雨により灰塚ダムでも「洪水警戒体制」をとり、洪水という事態に備えていました。7月21日の午後から灰塚ダム周辺では降雨が小康状態になり、ダム下流の川の水位が低下していることを確認した上で、灰塚ダムでは平成19年4月に管理体制に移行して以来はじめて、「中小出水の再現放流」を実施しました。

灰塚ダムは洪水時にゲートによる放流量調節を必要としない「自然調節方式」を採用したダムです。この「自然調節方式」のダムは洪水調節の管理がしやすいという利点がある反面、ダムより下流の川の流量の変動が小さくなるため、川の中に草木が生い茂ったり砂や石の移動が減ったりよどみ水が生じたりするといった環境面へ影響を与えることが心配されています。「中小出水の再現放流」はこの影響をできるだけ和らげるために行う放流です。

21日(火)は、16:00より「環境用水放流設備」を起動し、下流の河川の水位等を監視しながら徐々に放流量を増やしていき、23:00に終了しました。

灰塚ダムでは今後も洪水調節という大きな役割を果たしていくとともに、より下流の川の環境を保全するために努力を重ねたいと考えています。



(←)  
灰塚ダムの  
「環境用水放流設備」  
平成21年7月21日 17:45頃の様子

## 3. 平成21年7月25日における灰塚ダムの洪水調節について

梅雨前線に伴い、灰塚ダム流域でも7月24日(金)23時頃から激しい降雨となりました。

灰塚ダム流域で降った最大時間雨量は平均で27.8mm(25日2時)、降雨開始からの累計雨量は103.9mm(25日10時時点)を記録しました。

この降雨による灰塚ダム最大流入量は約278m<sup>3</sup>/s(25日5時30分頃)、最高貯水位は標高234.3m(25日13時20分頃)となりました。

灰塚ダム管理支所ではこの洪水に対応するため、24日(金)の深夜より洪水警戒体制を発令し、関係各機関へ情報伝達を行い、以後の降雨に備えていました。25日(土)の4時前に流入量が200m<sup>3</sup>/sに達し、かつ灰塚ダムからの放流によりダム下流の河川において、30分間に30cm以上の急激な水位上昇が見込まれたため、関係各機関に放流警報を通知するとともに、灰塚ダム下流2.6km地点にある市場放流警報所までの4箇所(灰塚ダム管理庁舎含む)において録音放送と警報サイレンの吹鳴を行いました。

この後、灰塚ダム流域では降雨が小康状態となったため、流入量と放流量、下流の水位状況の監視を続けました。同日14時過ぎに広島県備北地域に

発令されていた大雨警報が注意報に切り替わり、今後洪水の恐れがなくなつたと判断し、14時20分に洪水警戒体制を解除しました。

灰塚ダムは管理体制に移行してから今年度で3年目になりますが、管理移行後初めての洪水調節という事態にあたって、日頃の訓練の成果を活かしながら、灰塚ダム管理支所一同緊張感を持って臨みました。

今後もしかなる緊急事態にも適切に対応できるよう、頑張っていきます。

#### 4. 9月18日(金)8:00現在のダム諸量

- ・ハイヅカ湖への流入水量は毎秒1.29m<sup>3</sup>
- ・ダムから下流への放流量は毎秒1.5m<sup>3</sup>
- ・ダムの貯水率は92.8% となっています。

なお、9月16日(水)朝より曝<sup>ばっき</sup>気装置の運転は毎日10:00～18:00としております。

#### 5. 本号の最後に

最近はずっかり朝夕が涼しい時期になってきて、なんとなく秋が近づいている雰囲気を感じる今日この頃です。秋といえば「〇〇の秋」と呼ばれますね。この「〇〇」は人によって様々だと思いますが(食欲、スポーツ、睡眠・・・)、私はもっぱら「読書の秋」です。この秋の夜長に今まで読もうとしていまだに開いてもないたくさんの本を読破するというのが、毎年目標になっています。そんなに本を読んでどうする?と自問することもあります。自分のため、知識習得のため、などなど皮算用。そう肩に力を入れずにおもしろい本を楽しく読めれば良いとも思っています。

灰塚ダムは管理に移行して3年目を迎えますが、今年度に入って5・6月の少雨、7月末にかけての大雨など様々な局面に対応してきました。

これからも、灰塚ダムの担うべき役割をしっかりと果たせるよう、頑張っていきたいと考えています。

#### ◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 浜田 健一 (hamada-k87hg@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行 (katayama-n87hd@cgr.mlit.go.jp)

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544

